



近藤じゅん子通信 vol.30

近藤じゅん子が要望した「男性向けHPVワクチン接種」がさらに前進！

第3回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和6年9月18日(趣意)

防災

災害時のペット対策について

質問 防災マニュアルには災害時のペットとの同行避難の考え方が記載されていますが、自宅での生活が可能な場合は、ペットにも飼い主の方にも在宅避難が最良であると認識しています。

防災キャラバンを活用し、実際にペットの避難場所となる校庭等で疑似的に避難所生活を再現し体験していただくなど、ペットを飼っている方々にイメージしやすい周知、啓発を行っていただくのはいかがでしょうか。

体験すること、飼い主の方には改めて在宅避難の重要性を認識していただくと共に、ペット用の備蓄対策もあわせて展示等おこなっていただき、ペットがいる家庭での災害時の状況を整えていただくきっかけとしていただくことが重要だと考えます。

答弁 (区長) 議員ご提案の疑似的な避難所生活を再現し、非日常の生活を体験していただくことは、在宅避難の重要性を改めて認識していただくことにもつながると考えます。

防災キャラバンにペットブラスを出席する団体と調整を行い、

これまで実施してきた備蓄品の展示や同行避難をする際の注意点などの啓発と合わせて、体験の実施に向けた検討を進めてまいります。

電柱の地中化について

質問 現時点で、本町の防災まちづくりや玉川上水旧水路緑道事業に伴い、電柱の地中化されると認識いたしております。

この2つの開発以外に現在、電柱の地中化が予定されている都市整備工事や地域はありますでしょうか。防災・安全の街づくりの観点から無電柱化の計画的推進が必要と考えます。

答弁 (区長) 現在、2箇所以外では無電柱化を予定している地域はありません。大規模地震などの自然災害に対して備えるとともに、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図るための無電柱化を推進していくことを目指し、計画の策定に向けて準備を進めてまいります。

樹木の適正管理について

質問 強風などの影響で、

昨年年9月には代々木公園

近くで道路わきの街路樹が折れ、片側2車線の道路を塞ぎました。今年の8月は、6日に広尾ガーデンヒルズ近くの区道でケヤキの木が倒れ、30日には宮益坂で倒木がありました。

大切な緑が、区民や渋谷を訪れる方々の安全を妨げることのないよう、区道にかかわらず区立公園も含めて、倒木防止の対策が必要と考えます。

答弁 (区長) 倒木した2路線の街路樹について、樹木内部の腐朽状況などの調査を実施します。他路線の街路樹についても、優先的に診断が必要な箇所から、順次、街路樹診断の実施に向けて、準備を進めてまいります。

また、公園の樹木については、優先順位をつけながら、必要な診断を実施します。倒木防止の対策に当たっては、維持管理のあり方について、検討を進めてまいります。



子育て支援

自立にむけた養育支援について

質問 学校や家以外の子供の居場所支援は喫緊の課題です。就学後の子供の中には、家庭環境が整

わず、基本的な生活習慣が身につけていない児童もいることから、補助金を活用して、「児童育成支援拠点事業」を実施し、将来の自立にむけた養育支援を子育てネウボラ事業として実施していかげでしょうか。

答弁 (区長) 議員ご指摘のように、子育てネウボラ事業として、不登校の子供を含め、家庭や学校に居場所がない学齢期以降の子供に対する支援をしていく必要があると考えています。

「児童育成支援拠点事業」は、養育環境に課題を抱える子供の居場所として、子供に生活の場を提供するだけでなく、保護者も含めた総合的支援を可能とするものであり、実施に向けて検討したいと思えます。

育児パッケージの充実について

質問 渋谷区子育てネウボラの支援では、妊娠届を出された妊婦に担当保健師が面接を行い、産前産後の必要な支援について、ニーズを伺いながら子育て支援のためのセルフプランの作成を行っています。

身近な相談役として保健師とのつながりを作り、心身のケア、育児不安などの早期解決、虐待・ネグレクト等の未然防止にもつながっていると高く評価しています。

一方、第二子のおときに、内容が代わり映えせず、少し残念、とい

う声もあり、第二子が誕生した際の育児パッケージについて、内容の工夫はできないでしょうか。

今年度は「渋谷区子育てネウボラ育児パッケージ贈呈業務委託」のプロポーザルが実施されると聞いていますが、この機会に、さらに育児パッケージの充実を図って欲しいと考えます。

答弁（区長）議員ご指摘の通り、第二子については変更ができない状況にあります。

このため、今年度実施するプロポーザルにおいては、第二子以降が受ける育児パッケージについても、より満足いただけるような選定を行ってまいります。



健康

女性の専門健康相談所の設置について

質問 令和5年度に専門医による更年期障害の講演の開催、令和6年度に女性専門健康相談を3回行なうていただきました。

好評をいただいていると伺っていますが、今年度開催の健康相談の実績、また区民の皆様からの評価をお聞かせください。

来年度以降更なる講座と健康相談の拡充をすべきと考えます。

また、女性の専門健康相談所を設置いただき、相談所を基点に更に女性の健康支援を充実発展していただきたいと考えます。

答弁（区長）今年度は4人定員で3回開催しており、計12名の方にご参加いただきました。

参加者からは、普段から気にしていたことや周りには言いにくいため不安に思っていたことが解消された、といった事業に対する好評なご意見を頂いています。

女性医師や会場の確保に課題があるため、女性の健康相談所の設置は難しいと考えていますが、女性の健康相談の開催回数の増加や、講座内容の充実を図ることにより、区民の皆様にとってより良い環境を整えてまいります。

帯状疱疹ワクチンについて

質問 帯状疱疹ワクチンの費用助成は、都議会公明党が区市町村への支援を主張してきました。

渋谷区でも昨年から助成を決定していただき、50歳以上の区民に生ワクチンおよび不活化ワクチンそれぞれに限度額内の半額を助成されています。

助成後の接種人数もしくは割合はどの程度でしょうか。

また、定期接種化に向けて、带状疱疹ワクチンの助成額をあげていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

答弁（区長）不活化ワクチンは2回接種であり、年度をまたいで接

種する方がいるため、接種方法ごとの回数となりますが、1回接種の生ワクチンに334回分、2回接種の不活化ワクチンに1回目4399回分、2回目に3749回分に助成を行っています。

現在、国の厚生科学審議会において、定期予防接種化が議論されているところですので、今後定期予防接種に導入され、接種費用が一定額に定められた際には、他のワクチンと同様に区民の方が接種しやすいよう接種助成額を見直していきます。



フレイル予防について

質問 人生100歳時代を健康長寿社会へと転じていくよう、介護予防事業をより強化していくため、渋谷区に於いても「フレイル予防運動」の導入を重ねて提案して参りました。

今年度、いよいよ「フレイル健康チェック」としてフレイル測定事業が開始されます。

様々な角度からのチェックが予定され充実した内容になっていると認識しておりますが、新規事業ですので、事業の詳細をお示しく下さい。

答弁（区長）今年度から新たに実施する「フレイル健康チェック」は、高齢者が自身の健康状態を把握するとともに、ハイリスク者を早期に把握することを目的として、区内施設において計11回実施いたします。

現在、既に第4回目までの募集を締め切っていますが、各回とも早期に定員に達し、フレイルについての関心の高さが伺えます。

事業内容は身長や体重のほか、歩行姿勢、咀嚼力、足腰の筋力測定など、11項目の測定を行います。

測定後もフレイル予防を意識していただけるよう測定結果を参加者に個別にお渡しするとともに、フレイル予防に関する情報をまとめたチラシもお渡しいたします。

また、希望者には、リハビリテーション専門職との個別相談も実施し、個々の状態に合わせたアドバイスを行います。

さらに、ハイリスクと思われる方については、地域包括支援センターとも連携して、健康な状態に戻るよう早期支援につなげていきます。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 総務委員会
- 自治権確立特別委員会副委員長

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507



ホームページ



X(旧 Twitter)



Facebook



LINE